

始業式にあたり、皆さんに提案したい文字があります。それは「**許す**」です。

理由は、昨年度を振り返り、みんなに許してもらって、**救われたな**と思ったことがたくさんあったからです。先生たちも、人間ですので、精一杯やっているのだけれど、間違ってしまったことが度々ありました。そんな時、君たち、許してくれましたよね。ありがとう。**おかげさまで前に進めました。**

みんなが許してくれた理由を、想像すると、3つぐらいパターンがあるのかと思います。**1つめは**、もしも**相手の立場や状況**なら、そうしてしまったかもしれないと想像してくれた、**2つめは**、許さないで恨んでばかりいても、**次の展開が明るくないなとプラス思考**を働かせてくれた。**3つめは**、そういう人だから仕方ないし、自分も気づかないうちに嫌なことしているのを、実は相手が許してくれているかもしれない。「**お互いさま**」と思うからと、ある一中生が言っていたこともありました。

みんなに提案というのは、この許すことを、今年も、先生達、一中の仲間、家族に向けてほしいということに**+して、自分をも許してほしい**ということです。

全力でやると、全力ゆえに、野球のピッチャーは、沢山練習を積んでも、狙ったところと違うところに行ってしまうことがあります。

中学時代は、**練習なしの一発勝負の全力の毎日**、試行錯誤の毎日です。うまくいかなくて、自分が嫌になり、イライラする事が多いと思います。そんな時、自分を許してください。三日坊主になるのは、脳の防御反応が働くからで、仕方のない事だと解明されています。安心してください。脳の仕組みのせいです。

みんな人間なのだから、間違うのは当たり前。他人も、そして自分をも許して、

「前進」して、いや一中なので、「**躍進**」していきませんか。